

R4年度 収益性向上ワーキング

請負作業で工賃倍増計画

～青果市場卸業者編～

NPO法人キセキ みなくるはうす

徳本 武司

R4年度収益性向上ワーキングについて

【目的】

1つの受託作業をモデルとして、前年度(R3年)の作業アセスメント研修の学びを活かし、障害者就労に先進的に取り組む企業から工程作りのアドバイスをいただきながら、障害特性をふまえた工賃向上の取り組みを行う

【企画の流れ】

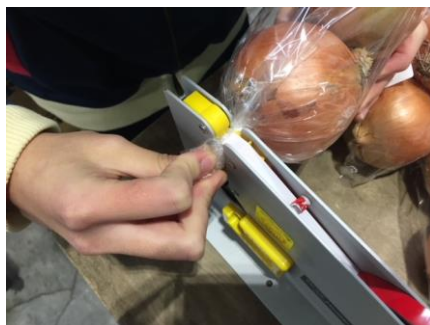
- ① 企画のモデルとなる企業と事業所の紹介
- ② 委員による作業場の見学と改善へのアドバイス
- ③ アドバイスを元にした改善への取り組み
- ④ 工賃向上の結果発表

協力企業のご紹介

山一青果株式会社 (周南市地方卸売市場内)



委託作業：青果袋詰め



受託作業の収支評価方法

① 売上の妥当性（工賃支払いの見込みが立つか）

- ・梱包作業（1 梱包） 指定単価

 - ※ラップや生花もたまにあるが押し並べての料金

- ・時給換算（施設職員の平均） 約764円（週平均）

② 定性評価（簡易で安定した仕事の受託が出来るか）

- ・1つの作業は簡易（運ぶ・量る・詰める・綴じる・貼る）

 - ※片手だと一定の作業に制限有り

- ・時期に変化あり（夏・冬↓春・秋↑）押し並べて○

- ・納入先が大手や病院等で流通量は安定している

これなら作業として受託しても大丈夫！

作業アセスメント

～「モノ」と「ヒト」に着目した生産性の見直し～

①モノ

②ヒト

開始時に受託した2事業所



移動距離

下松からは
距離 5 km
片道10分

みなくるはうす下松
下松市望町2丁目8-11



徳山青果市場

周南市鼓海鼓海 1 丁目324-18



みなくるはうす光
光市中央5-1-21



光からは
距離15km
片道30分



開始時のタイムスケジュール

下松

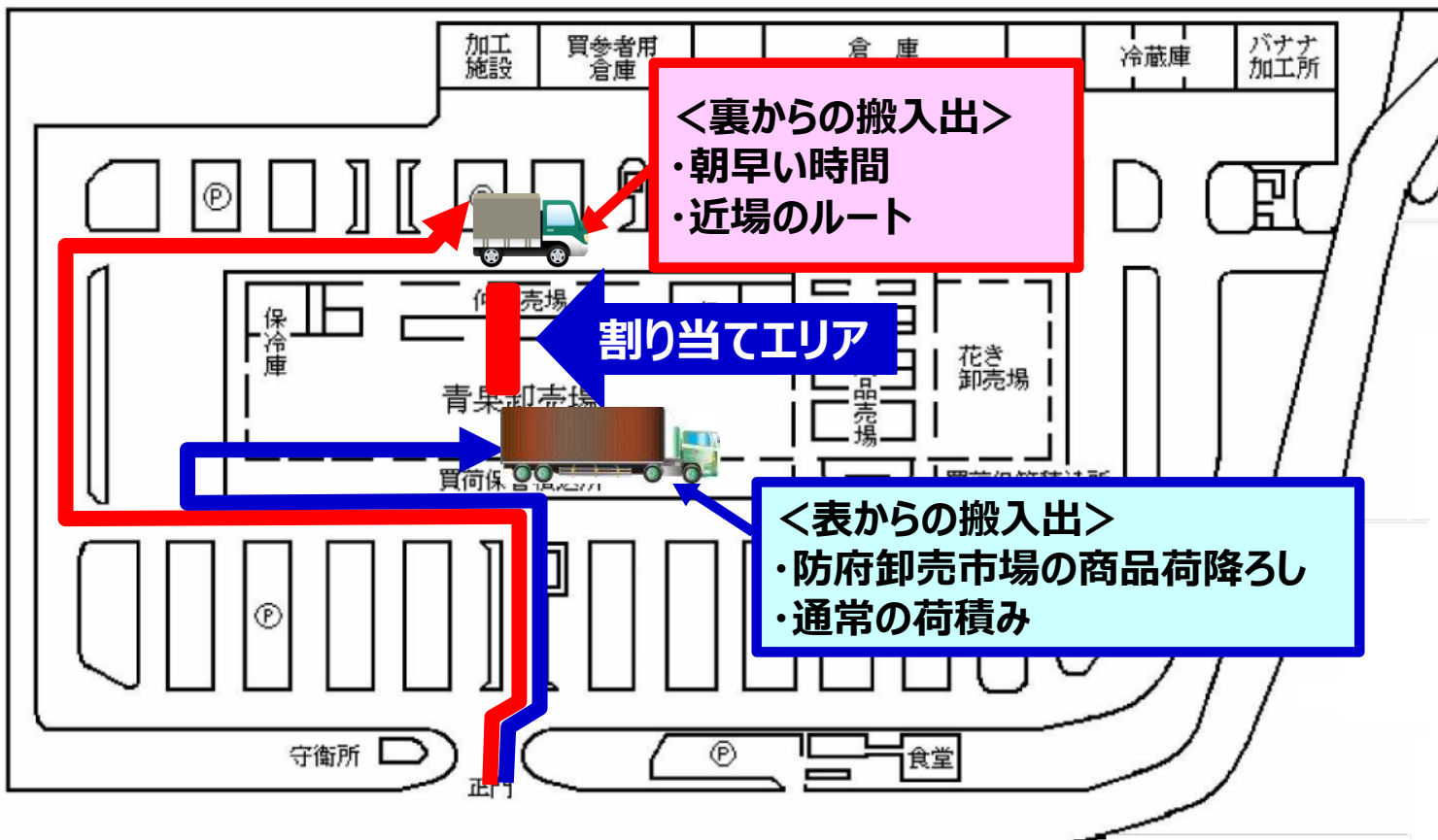
光

時間	内容
8:00~9:30	各地からみなくる下松へ送迎
9:30~9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45~10:00	市場へ車移動
10:05~10:20	現場で指示受け、作業準備
10:20~11:45	各作業75分（途中休憩10分）
11:45~12:00	施設へ車移動（休憩45分）
13:00~13:20	市場へ車移動、作業開始
13:20~14:45	各作業75分（途中休憩10分）
14:45~15:05	施設へ車移動
15:05~15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30~17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 150分 （2時間30分）

時間	内容
8:00~9:30	各地からみなくる光へ送迎
9:30~9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45~10:20	市場へ車移動
10:20~11:30	各作業60分（途中休憩10分）
11:35~12:05	施設へ車移動
12:30~13:00	市場へ車移動（午後メンバー交代）
13:00~14:30	各作業80分（途中休憩10分）
14:30~15:00	施設へ車移動
15:00~15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30~17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 140分 （2時間20分）

どちらも移動時間が多い

①モノ：流れ分析（荷卸し・積み出し）



搬入出に関しては固定されていない

①モノ：作業フロアの流れ分析

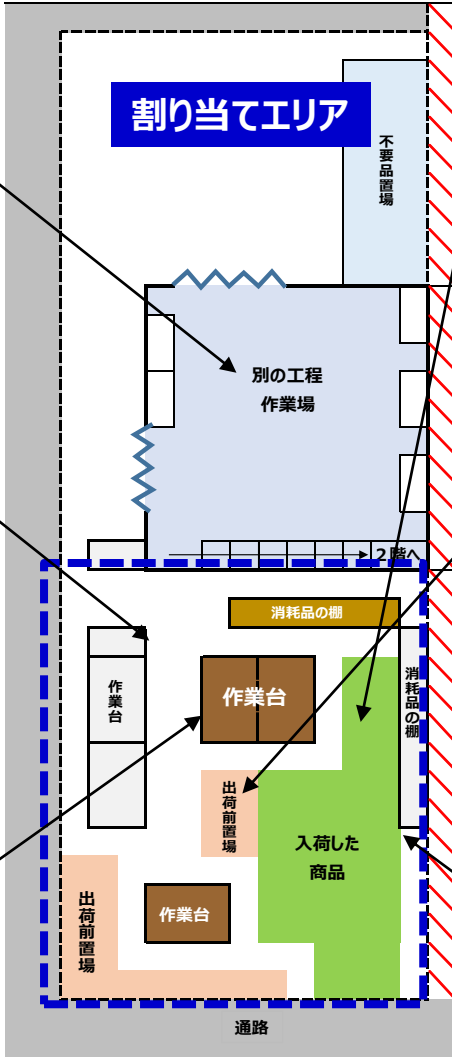
**全て1人で
行う工程**



**やや不足
気味カート**



**作業場の
周りに荷物**

**棚前に荷物
作業物品不足
消耗品不足**



**フロア中央に
積み出し商品**

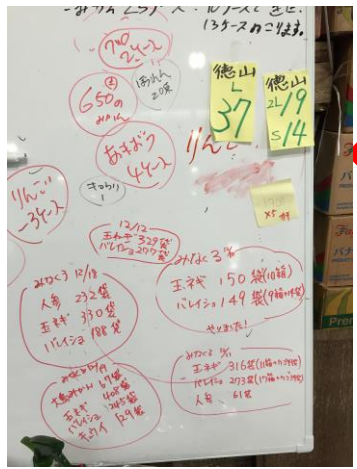


**指示は口頭
報告はホワイトボード
指示者は多忙で不在**



①モノ：工程分析（袋詰め作業）

袋詰め作業（イメージ）



受託元では1人で
全工程を行われていた



①モノ：工程分析（袋詰め作業）

記号	定義
○加工	物理的・科学的な変化
→運搬	対象物が他の位置へ移動
□検査	監視・測定し合否を判定
△停滞	停止または貯蔵

工程	内容
△	口頭指示を受け作業予定の野菜を選ぶ
→	作業台まで運ぶ
△	準備(袋・値札・ゴミ箱・カート・シーラー・梱包箱)
→	野菜を箱から出す
□	変色・傷・腐り・歪さ・規格外の検品
□	指定された量をはかる(※個数なら数える)
○	袋に詰める
○	バックシーラー
○	値札貼り
○	規定数を梱包
○	段ボールを閉じる
○	梱包数を上を書く
→	カート(台車)へ積む
→	積み出し場所まで運搬
△	片付け、清掃、ごみ処分
□	合計数の申し送り

②ヒト：要素作業と必要能力

作業名【袋詰め作業】

工程	要素作業	評価項目(任せられる/任せられない)	
準備	指示(口頭)を受け 作業予定の野菜を選ぶ	種類、産地、サイズを間違えずに適切な時間で選び出せるか	
		聞き洩らし、不確かな時は、聞き直して確認できるか	
		現場へ封入する「重さ(個数)」「袋数」を正確に伝達できるか	
	準備 (袋・値札・ゴミ箱・カート・シーラー・梱包箱)	ラベルプリンターで種類、産地、値札、枚数を確実に打ち出せる	
		既定サイズの封入袋を間違えずに棚から用意できる	
		燃えるゴミと燃えないゴミの箱や袋を設置できる	
		最初の梱包用に同じ(似た)種類の箱を探してこれる	
		指定されたテープの色のシーラーを棚から出し準備できる	
		カートや台車の準備が出来る	
		カートや台車を借りる際に近くの人へ声かけができる	
運搬	作業台まで運ぶ	10~20kgの重さの箱を台車へ移せられる 作業台まで持ち上げられる	
	野菜を箱から出す	ハサミやカッター等を使いガムテープを開けることができる	
		箱を傾けて作業台の上に広げられる	
		箱を持ち上げてカゴの中に適量移せる	
検品	変色・傷・腐り・歪さ・規格外の検品	変色、カビ、傷など色の異常を判断できる	
		規格外や形の異常を判断できる	
		判断が難しい場合は職員に聞くことができる	
		選別した廃棄野菜の個数を数え報告できる	
袋詰め	指定された量をはかる (個数を数える)	量りの目盛がよめる(目印が分かる) 適量を増減させ調整できる	
	袋に詰める	袋の口を開け中に投入できる	
		指定された入れ方を理解できている 入れた野菜を整えられる	
袋詰め	バックシーラー	口をキツくねじる(絞る)ことができる	
		真っ直ぐ押し下げテープ留めできる	
	値札貼り	シールを台紙から取りシワの無い指定された平面に貼れる	
		貼りが甘い時の押さえやズレた時に貼り直しができる	
	梱包	規定数を梱包できる	1つの箱にいくつ入れるか事前に確認できている
		段ボールを閉じる	蓋のクロス組みが出来る
			閉まりにくいとき位置を整えることができる
		梱包数を上に貼る	メモに数量を書ける
			テープでメモ紙を側面に止められる
		端数をカゴに入れる	折りたたみカゴの組み立てができる 端数の個数を紙で表示できる
運搬	カート(台車)へ積みむ	梱包後に持ち上げカートや台車に乗せられる	
		個数の書いたメモが見えるように積める バランスよく積み上げられる	
	積み出し場所まで運搬	バランスを崩さずに移動できる 積み出し場所を間違えないで移動できる	
片付け	片付け、清掃、ごみ処分	元にあった場所まで道具を戻せる	
		消耗品が切れそうな場合に報告できる	
		ほうきとちり取りを使い綺麗に清掃できる	
		ゴミを分別して所定の場所へ捨てられる	
報告	合計数の申し送り	各班の合計数を間違えずに計算できる	
		申し送り表に記載できる	

課題分析と対応

- ① 全体の流れ（受け入れから出荷まで）
- ② 作業工程の分析
- ③ 作業要素と特性のマッチング

① 全体の流れ（課題の抽出）

課題
口頭での作業指示
作業・移動スペースが狭い
物品の故障や不足
消耗品の日常的な不足
作業予定の野菜の場所が分かりにくい
1人が全ての作業を行うセル方式

①全体の流れ 課題「口頭での作業指示」

今日は
山口県産玉ねぎ
3個入り250袋
金額178円で
お願いします

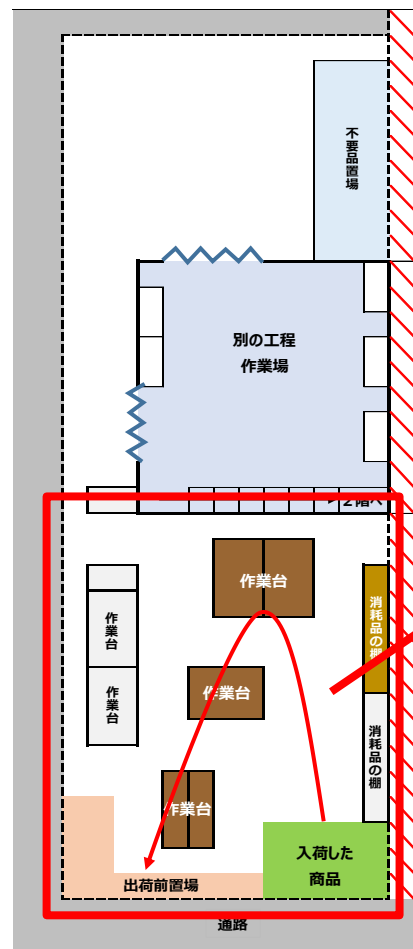
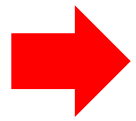
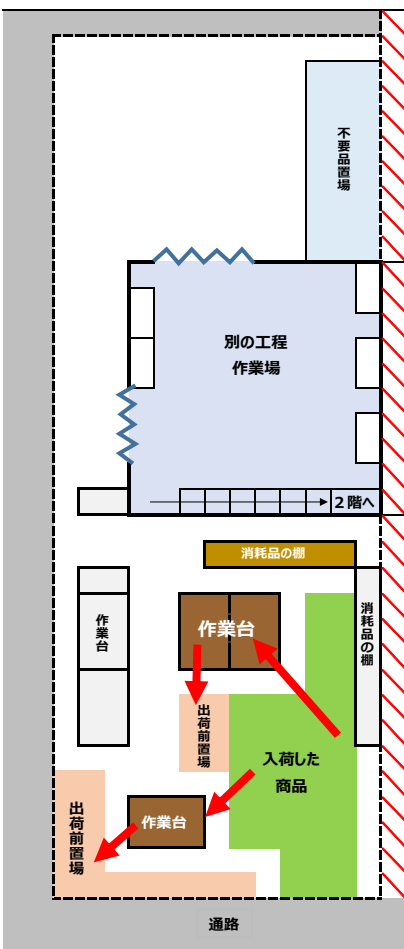


口頭指示

LINEグループ+口頭確認に変更

①全体の流れ

課題「作業・移動スペースが狭い」



➡机・棚の位置を変え、間隔もあける

①全体の流れ 課題「物品の故障や不足」



➡毎日必要な物は弊所でも準備して管理

①全体の流れ 課題「消耗品の日常的な不足」

一カ所に整理して余りは戻すを習慣化



非常時に備えて持ち歩いている



➡作業量が増えたため、委託元の事務職員により消耗品をチェック
非常用のため施設でも準備

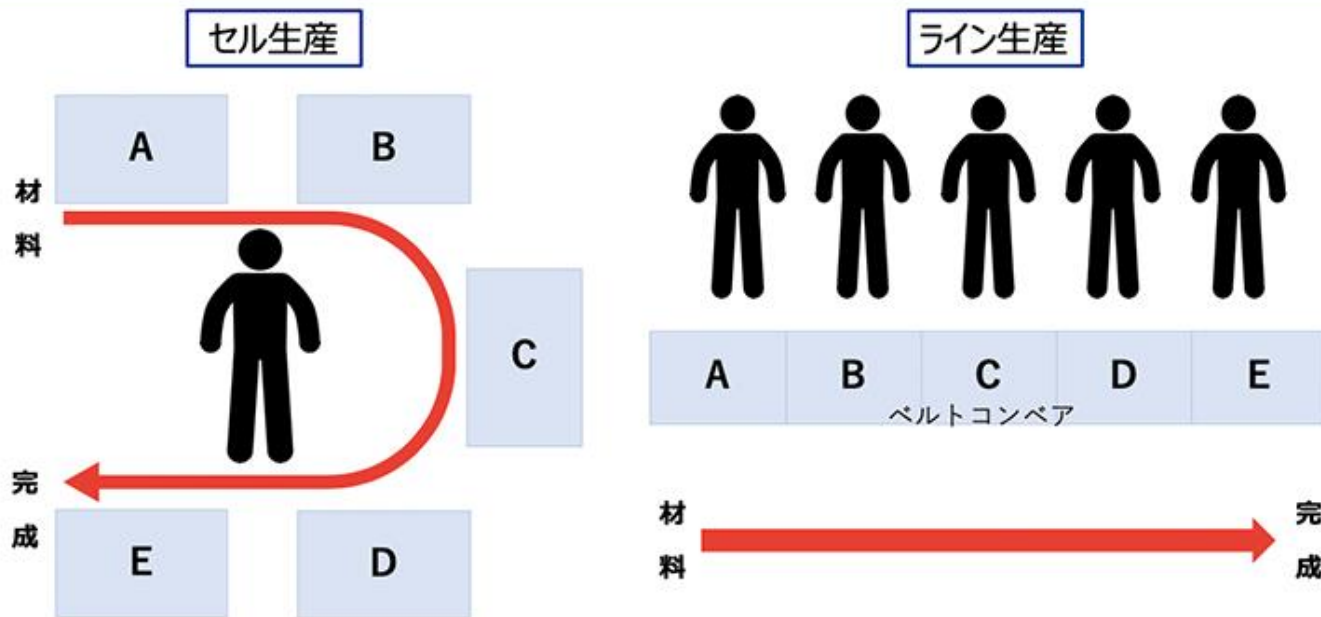
①全体の流れ 課題「作業予定の野菜の場所が分かりにくい」



➡受託元の作業者は一目で分かるが、私達は慣れておらず手間取った受託元や青果市場担当者も関係するため、検討事項となる

①全体の流れ 課題「1人が全ての作業を行うセル方式だった」

セル生産とライン生産の違い



➡利用者は能力の凸凹があるので、得意を活かせるライン生産に変更
※次項の工程分析へ

微動素分析（サブリック分析）

第1類 （作業に必要な動作）	第2類 （作業を遅らせる動作）	第3類 （不必要な動作）
①空手移動	⑨探す	⑮保持する
②つかむ	⑩見出す	⑯避けられない手持ち
③運ぶ	⑪選ぶ	⑰避けられる手持ち
④放す	⑫位置決め	⑱休む
⑤調べる	⑬用意する	
⑥組み合わせる	⑭考える	
⑦分解する		
⑧使用する		

第1類・・・両手を中心とした18の動作要素のうち、作業を進めるのに必要な動作

⑥⑦⑧は効率的で価値を生む動作なので出来るだけ増やすのが良い

第2類・・・第1類を遅らせる要素、治工具の置き方・使い方や材料の置き方に問題がある

第3類・・・仕事が進んでいない要素、両手のバランスや前後工程との繋がりが悪い

②モノ：工程分析（袋詰め作業）

工程	内容	対応
△	口頭指示を受け作業予定の野菜を選ぶ	→開始前までにLINEで指示を受ける
→	作業台まで運ぶ	
△	準備(袋・値札・ゴミ箱・台車・シーラー・梱包箱)	→場所を決めて戻す。準備中に値札を打ち出す
→	野菜を箱から出す	
□	変色・傷・腐り・歪さ・規格外の検品	
□	指定された量をはかる(※個数なら数える)	
○	袋に詰める	
○	バックシーラー	
○	値札貼り	
○	規定数を梱包	
○	段ボールを閉じる	
○	梱包数を上に書く	
→	カート(台車)へ積む	
→	積み出し場所まで運搬	
△	片付け、清掃、ごみ処分	→積み出し運搬と実績数申し送り中に行う
□	合計数の申し送り	→ホワイトボードをやめ、申し送り表を作る

工程の
△を無くせるよ
うに取り組む

➡オーナーや現場責任者とも相談し、限りなく時間短縮を図った

③ 作業要素と特性のマッチング

当初の作業範囲

作業別アセスメント表 (R3.10月在籍者8名)

作業名【袋詰め作業】

(①出来ない ②サポートあれば出来る ③1人で出来るがたまにミス ④1人で出来る)

工程	要素作業	評価項目(任せられる/任せられない)	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
準備	指示(口頭)を受け 作業予定の野菜を選ぶ	種類、産地、サイズを間違えずに適切な時間で選び出せるか	3	3	4	3	4	3	1	4
		聞き洩らし、不確かな時は、聞き直して確認できるか	3	3	4	3	4	3	1	4
		現場へ封入する「重さ(個数)」「袋数」を正確に伝達できるか	3	3	4	4	4	3	1	4
	準備 (袋・値札・ゴミ箱・カート ・シーラー・梱包箱)	ラベルプリンターで種類、産地、値札、枚数を確実に打ち出せる	2	2	4	3	4	2	1	4
		既定サイズの封入袋を間違えずに棚から用意できる	3	4	4	4	4	4	2	4
		燃えるゴミと燃えないゴミの箱や袋を設置できる	4	4	4	4	4	4	2	4
		最初の梱包用に同じ(似た)種類の箱を探してこれる	4	4	4	4	4	3	1	4
		指定されたテープの色のシーラーを棚から出し準備できる	4	4	4	4	4	4	2	4
		カートや台車の準備が出来る	4	4	4	4	4	4	1	4
		カートや台車を借りる際に近くの人へ声かけができる	3	3	4	4	4	4	1	4
運搬	作業台まで運ぶ	10~20kgの重さの箱を台車へ移せられる	4	2	4	2	2	4	2	4
		作業台まで持ち上げられる	4	2	4	2	2	4	2	4
	野菜を箱から出す	ハサミやカッター等を使いガムテープを開けることが出来る	4	4	4	4	4	4	1	4
		箱を傾けて作業台の上に広げられる	4	2	4	4	2	4	1	4
		箱を持ち上げてカゴの中に適量移せる	4	2	4	4	2	4	1	4

③作業要素と特性のマッチング

工程	要素作業	評価項目(任せられる/任せられない)	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
梱包	端数をカゴに入れる	折りたたみカゴの組み立てができる	4	4	4	4	4	3	1	4
		端数の個数を紙で表示できる	4	4	4	4	4	3	4	4
運搬	カート(台車)へ積み	梱包後に持ち上げカートや台車に乗せられる	4	2	4	4	2	3	2	4
		個数の書いたメモが見えるように積める	3	4	4	4	4	4	4	4
		バランスよく積み上げられる	4	3	4	4	4	2	2	4
	積み出し場所まで運搬	バランスを崩さずに移動できる	4	3	4	4	3	4	1	4
		積み出し場所を間違えないで移動できる	3	2	4	4	2	4	1	4
片付け	片付け、清掃、ごみ処分	元にあった場所まで道具を戻せる	3	4	4	4	4	3	2	4
		消耗品が切れそうな場合に報告できる	4	4	4	4	4	4	1	4
		ほうきとちり取りを使い綺麗に清掃できる	4	2	4	4	2	4	1	4
		ゴミを分別して所定の場所へ捨てられる	4	4	4	4	4	4	2	4
報告	合計数の申し送り	各班の合計数を間違えずに計算できる	3	2	4	2	3	3	1	3
		申し送り表に記載できる	2	1	4	2	2	2	1	4

改善前の工賃一覧

主要メンバーの工賃支給額

名前	R3.10
Aさん	16,800円
Bさん	25,900円
Cさん	13,300円
Dさん	18,900円
Eさん	20,300円
Fさん	16,800円
Gさん	18,375円
Hさん	3,675円

※他の作業と兼務の方は除く

効率化に取り組みながら大きな課題に気付く

作業時間の短さ

- 光は移動に時間がかかり(約30分)効率が悪い
- 送迎は一旦施設へ集まるので時間のロスがある
- 昼給食は施設へ戻って食べるので移動時間のロスがある
- 指示内容を現場で確認している時間のロスがある



今後、施設の努力として取り組むことを決意

効率化に取り組みながら大きな課題に気付く

個人の能力差

- 福祉には個人の**能力評価**で**工賃差**を付けてはならないルールがある(作業ごとに単価設定は可能)
- 実績数に対しての報酬設定は出来るが、ライン作業なので、**個別の実績数**は出しにくい
- 特定の利用者の評価が下がり**排除される**システムは作るべきではない



マッチングだけではなく、個人の能力開発にも取り組む

ワーキング企業協力者による現場確認とアドバイス



- ① 作業工程の方向を統一する
- ② 昼休憩は作業場近くで確保する
- ③ 通路区分や物の定位を決める
- ④ 省力化できる機材の導入
- ⑤ 支援者と利用者の役割の見直し

アドバイスも考慮した改善点

① 作業効率と環境調整

(移動距離、グループ化、昼休憩、指示受け、定置、通路区分、作業範囲、運搬具)

② 役割の見直し

(スタッフの統括者と作業支援者、利用者リーダー等)

③ 目標と変化

(収益、工賃支給額、利用者の様子)

①作業効率と環境調整

- ・移動距離
- ・グループ化
- ・昼休憩
- ・指示受け
- ・定置
- ・通路区分
- ・運搬具

見直し後の移動距離

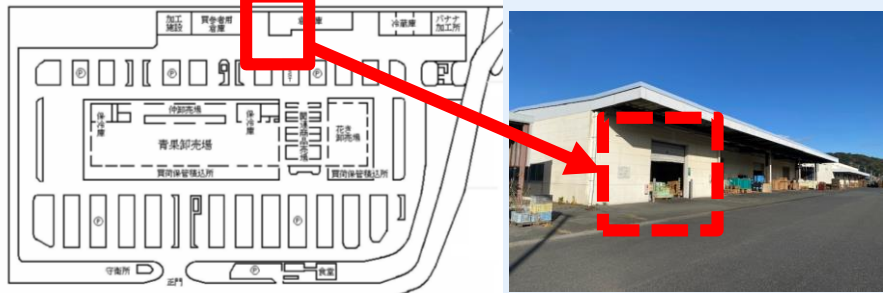
移動距離

下松からは
距離 5 km
片道10分

みなくるはうす下松
下松市望町2丁目8-11



徳山青果市場 山一青果分場
周南市鼓海鼓海 1 丁目324-18



市場内に施設用の作業場

中止

みなくるはうす光
光市中央5-1-21



光からは
距離15km
片道30分



時間延長のための3つのグループ分け

作業グループ	作業時間
Aグループ (現地集合)	9:00~16:00(休憩80分) 5時間
Bグループ (施設送迎)	10:10~14:45(休憩80分) 3時間15分
Cグループ (半日は別作業)	AM 10:10~11:45 1時間35分 PM 13:20~14:45 1時間15分

もともと長い人でも **1日 2時間30分** だった

新

タイムスケジュール Aグループ (現地集合)

時間	内容
9:00-9:10	バイタルチェック、朝礼
9:10-12:00	各作業150分(休憩2回20分)
12:00-13:00	準備・給食(休憩60分)
13:00-15:50	各作業150分(休憩2回20分)
15:50-16:00	片付け、清掃、振り返り
作業時間	合計 300分(5時間)



タイムスケジュール

Bグループ（施設送迎）

旧

改

時間	内容
8:00-9:30	各地からみなくる下松へ送迎
9:30-9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45-10:00	市場へ車移動
10:00-10:20	現場で指示受け、作業準備
10:20-11:45	各作業 75分 (途中休憩10分)
11:45-12:00	施設へ車移動(休憩45分)
13:00-13:20	市場へ車移動、作業開始
13:20-14:45	各作業 75分 (途中休憩10分)
14:45-15:05	施設へ車移動
15:05-15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30-17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 150分(2時間30分)



時間	内容
8:00-9:30	各地からみなくる下松へ送迎
9:30-9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45-10:00	市場へ車移動
10:00- 10:10	作業準備
<u>10:10-12:00</u>	各作業 100分 (途中休憩10分)
12:00-13:00	準備・給食(休憩60分)
<u>13:00</u> -14:45	各作業 95分 (途中休憩10分)
14:45-15:05	施設へ車移動
15:05-15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30-17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 195分(3時間15分)

タイムスケジュール

Cグループ (半日作業)

旧

時間	内容
8:00-9:30	各地からみなくる下松へ送迎
9:30-9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45-10:00	市場へ車移動
10:00-10:20	現場で指示受け、作業準備
10:20-11:45	各作業75分(途中休憩10分)
11:45-12:00	施設へ車移動(休憩45分)
13:00-13:20	市場へ車移動、作業開始
13:20-14:45	各作業75分(途中休憩10分)
14:45-15:05	施設へ車移動
15:05-15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30-17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 150分(2時間30分)

改

時間	内容
8:00-9:30	各地からみなくる下松へ送迎
9:30-9:45	バイタルチェック、朝礼、送迎車乗車
9:45-10:00	市場へ車移動、作業準備
10:10-11:45	各作業95分(途中休憩10分)
11:45-12:00	施設へ車移動(休憩45分)
作業時間	合計 95分(1時間35分)
時間	内容
13:00-13:20	市場へ車移動、作業準備
13:20-14:45	各作業75分(途中休憩10分)
14:45-15:05	施設へ車移動
15:05-15:30	片付け、清掃、振り返り、車乗り込み
15:30-17:00	みなくる下松から自宅まで送迎
作業時間	合計 75分(1時間15分)

①作業効率と環境調整

作業環境と作業効率への改善

指示ボード



置場を決める



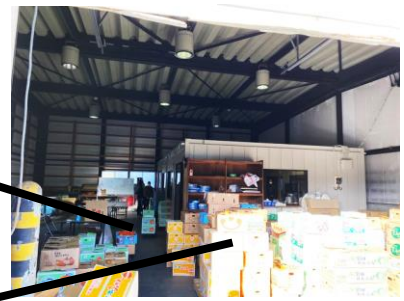
出荷前の商品



休憩室&スタッフルーム



通路区分

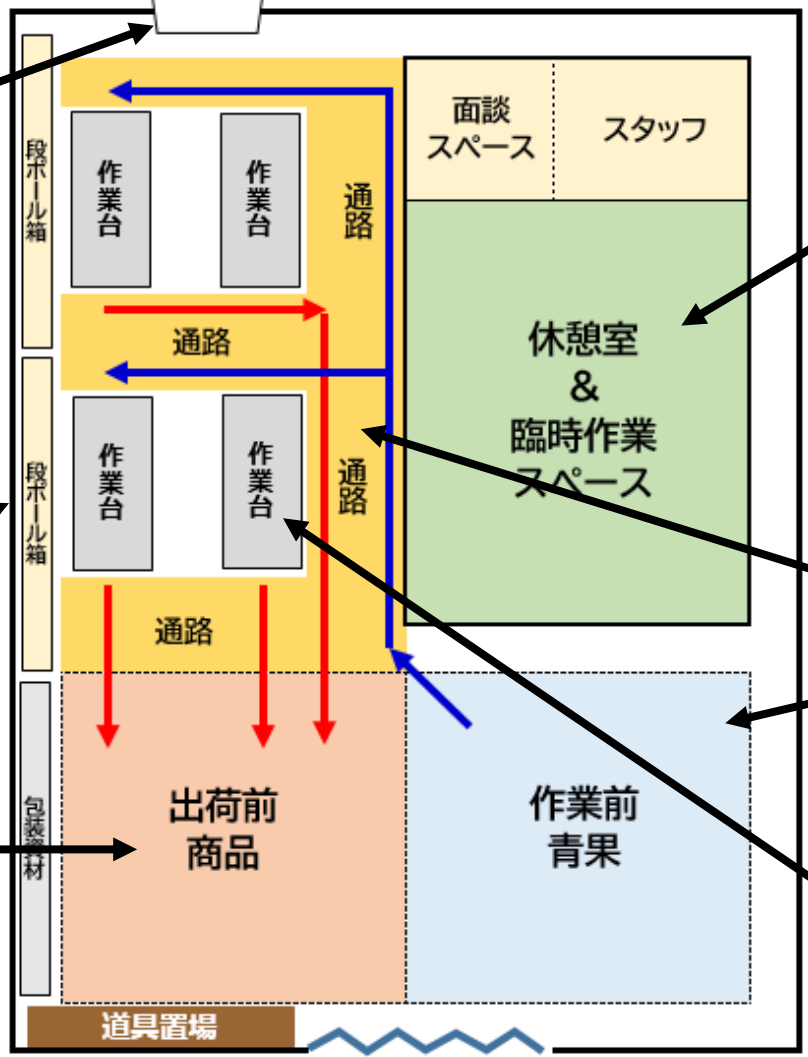


作業前の青果

机の高さや運搬具



高さ80cm



②役割の見直し

- ・統括者の役割
- ・作業支援者の役割
- ・利用者リーダーの役割

各作業班に利用者リーダー

- ・遅れが出ている方のサポート
- ・新しい利用者の作業指導



統括者と作業支援者の役割分担

① 統括者

- ・ 経営者から指示受けと各班指示出し
- ・ 全体の工程管理
- ・ 各班担当者のサポート
- ・ 施設管理、物品管理等

② 作業支援者

- ・ 青果や物品の補充
- ・ 利用者個別指導
- ・ 活動記録、活動日誌



個別での作業支援

末梢神経障害
花の処理と包装



多動・重度知的
個数記載



片麻痺・重度知的
ラベル貼り



視覚障害・脳性麻痺
ラベル貼り



取り組み後の結果

③ 目標と変化

- ・事業収益
- ・工賃支給額
- ・利用者の変化

事業収益と工賃支給額

2年間の推移

単位:円

700,000

600,000

500,000

400,000

300,000

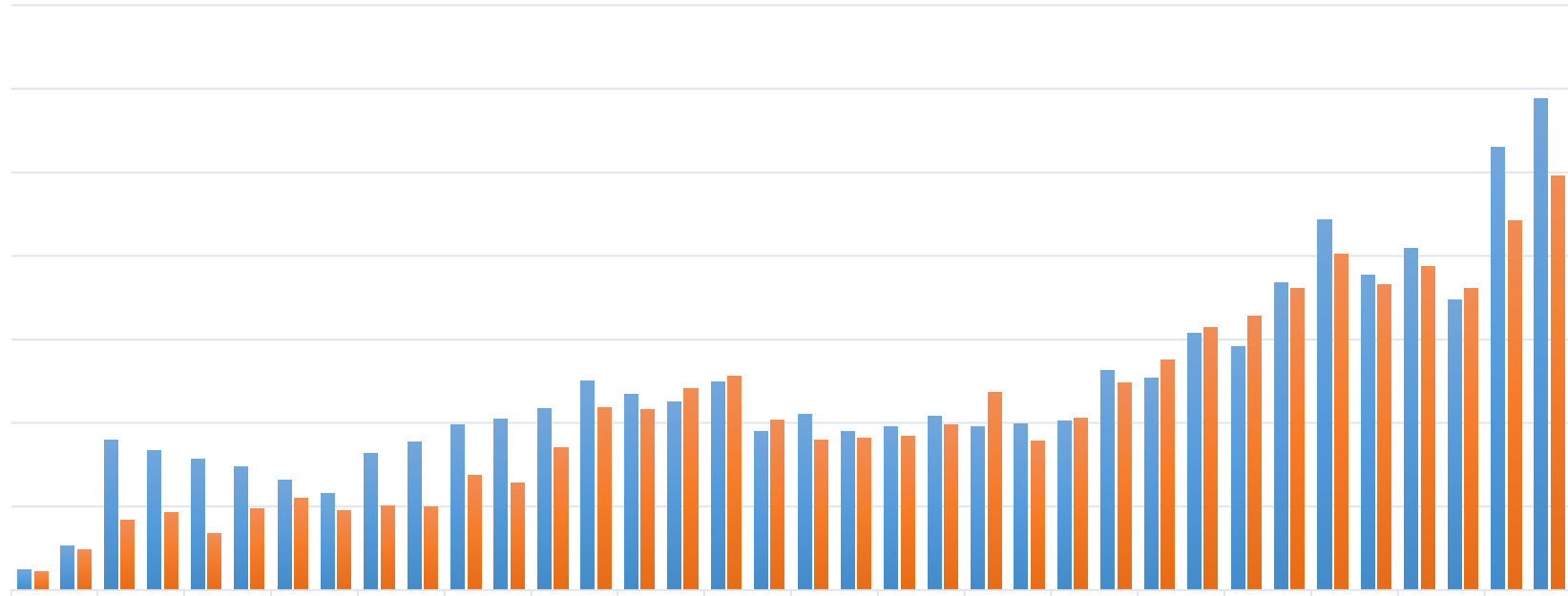
200,000

100,000

0

2019年12月
2020年2月
2020年4月
2020年6月
2020年8月
2020年10月
2020年12月
2021年2月
2021年4月
2021年6月
2021年8月
2021年10月
2021年12月
2022年2月
2022年4月
2022年6月
2022年8月
2022年10月

■ 事業収益 ■ 利用者工賃



最終的な工賃支給と利用者の変化

主要メンバーの工賃支給額

グループ	名前	R3.10	R4.11	向上率	利用者の変化
B	Aさん	16,800円	13,862円	83%	コロナ濃厚接触者での待機期間あり。焦っても感情的にならずに対応できる。
B	Bさん	25,900円	36,147円	140%	自分が出来そうな作業を探し、自ら入っていくようになる。
B	Cさん	13,300円	20,796円	156%	作業全般の習熟あり。集計は任せることが出来る。利用者指導もされている。
B	Dさん	18,900円	35,895円	190%	好まない作業にも入れるようになった。新しい作業へチャレンジし習得している。
B	Eさん	20,300円	30,235円	149%	他利用者へ協力を求め協同作業している。慣れていない利用者へ指導されている。
B	Fさん	16,800円	23,410円	139%	電卓など補助手段を身に付けている。分からなかった作業も繰り返しできるようになる。
B	Gさん	18,375円	27,054円	147%	突然の指示にも感情的になることが減った。周りの流れを見て少し動けるようになった。
A	Hさん	3,675円	52,944円	1440%	周りに気遣いが出来るようになる。間違いを報告できる。次の作業の準備ができる。

障害別の適性作業と多能工化

能力を知りたい方、伸ばしたい方については、
アセスメント(神経心理学検査・職業検査)で理解を深め
作業評価項目の「任せられない」を
「任せられる」に変えられるポイントを探し、
成長の見込み(伸びしろ)を再修正していく

流れをつかみ20%程度スピードが上がった時点
で適応作業かを見極める

障害別の適性作業と多能工化へ

障害種 (重複の影響力)	作業適応時の注意と多能工化への介入
知的障害	<ul style="list-style-type: none">・基本は1作業に2～3手順までの範囲にし、手順や見本として視覚化した・頭の中で考える操作(空間・計算)はできるだけ入れないようにした・出来るまで傍にいて修正を繰り返し、習熟までの時間を多く見積もった・上下関係での態度悪化に注意し、他者との調整・交渉はできるだけ避けた
発達障害 (発達>知的)	<ul style="list-style-type: none">・指示は具体的数字で提示し、終わりが分かる作業を提供するようにした・初めに好む工程を探し、作業の中で手先の器用度を試していった・ASDは固定作業、LDは代償手段、ADHDは留まらない作業に配慮した・自由裁量は避け、出来るだけルールや流れを決めて提供した

※身体障害、難病の方は環境整備が主な調整となるため、説明からは除外してます

障害別の適性作業と多能工化へ

障害種 (重複の影響力)	作業適応時の注意と多能工化への介入
精神障害 (発達>精神)	<ul style="list-style-type: none">・失敗少ない簡易作業からスタートし、スピードより正確性を重視した・病状や薬の副作用が作業に影響を与えてないか確認していった・睡眠やストレス感の把握や指標作り、作業負担や疲労あれば少しずつ調整・理解度より作業遂行力はやや低いと見積もる必要があった・他者配慮が少ない(気を遣う)グループは避け精神的ストレスを軽減した
高次脳機能 障害	<ul style="list-style-type: none">・麻痺の程度を調べ、実用手として使用可能か作業の中で見定めた・失語症者には指示理解の程度と表出(話せる)の程度を確認した・注意力低下によるミスと脳疲労の効率低下を確認した・記憶の容量と時間経過の忘れを把握し、作業指示も問題ない範囲にした・ストレスで感情が高ぶらないよう仕事の負荷量、グループの質に配慮した・社会経験が豊富なため、作業の様子を報告、現場指示をお願い出来た

※身体障害、難病の方は環境整備が主な調整となるため、説明からは除外しています

利用者の変化

初期の作業

増えた作業

作業別アセスメント表

作業名【袋詰め作業】

(①出来ない ②サポートあれば出来る ③1人で出来るがたまにミス ④1人で出来る)

工程	要素作業	評価項目(任せられる/任せられない)	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
準備	指示(口頭)を受け 作業予定の野菜を選ぶ	種類、産地、サイズを間違えずに適切な時間で選び出せるか	3	3	4	3	4	3/4	1	4
		聞き洩らし、不確かな時は、聞き直して確認できるか	3	3/4	4	3/4	4	3	1	4
		現場へ封入する「重さ(個数)」「袋数」を正確に伝達できるか	3	3	4	4	4	3	1	4
	準備 (袋・値札・ゴミ箱・カート ・シーラー・梱包箱)	ラベルプリンターで種類、産地、値札、枚数を確実に打ち出せる	2	2	4	3	4	2	1	4
		既定サイズの封入袋を間違えずに棚から用意できる	3/4	4	4	4	4	4	2	4
		燃えるゴミと燃えないゴミの箱や袋を設置できる	4	4	4	4	4	4	2	4
		最初の梱包用と同じ(似た)種類の箱を探してこれる	4	4	4	4	4	3/4	1	4
		指定されたテープの色のシーラーを棚から出し準備できる	4	4	4	4	4	4	2	4
		カートや台車の準備が出来る	4	4	4	4	4	4	1	4
		カートや台車を借りる際に近くの人へ声かけができる	3/4	3	4	4	4	4	1	4
運搬	作業台まで運ぶ	10~20kgの重さの箱を台車へ移せられる	4	2	4	2/3	2	4	2	4
		作業台まで持ち上げられる	4	2	4	2/3	2	4	2	4
	野菜を箱から出す	ハサミやカッター等を使いガムテープを開けることが出来る	4	4	4	4	4	4	1	4
		箱を傾けて作業台の上に広げられる	4	2	4	4	2	4	1	4
		箱を持ち上げてカゴの中に適量移せる	4	2	4	4	2	4	1	4

利用者の変化

工程	要素作業	評価項目(任せられる／任せられない)	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
梱包	端数をカゴに入れる	折りたたみカゴの組み立てができる	4	4	4	4	4	3 4	1 2	4
		端数の個数を紙で表示できる	4	4	4	4	4	3	4	4
運搬	カート(台車)へ積む	梱包後に持ち上げカートや台車に乗せられる	4	2	4	4	2	3 4	2	4
		個数の書いたメモが見えるように積める	3 4	4	4	4	4	4	4	4
		バランスよく積み上げられる	4	3	4	4	4	2 3	2 3	4
	積み出し場所まで運搬	バランスを崩さずに移動できる	4	3	4	4	3	4	1	4
		積み出し場所を間違えないで移動できる	3	2 3	4	4	2	4	1 2	4
片付け	片付け、清掃、ごみ処分	元にあった場所まで道具を戻せる	3	4	4	4	4	3 4	2 3	4
		消耗品が切れそうな場合に報告できる	4	4	4	4	4	4	1	4
		ほうきとちり取りを使い綺麗に清掃できる	4	2 4	4	4	2 4	4	1	4
		ゴミを分別して所定の場所へ捨てられる	4	4	4	4	4	4	2	4
報告	合計数の申し送り	各班の合計数を間違えずに計算できる	3	2 3	4	2 3	3	3	1	3 4
		申し送り表に記載できる	2 3	1 2	4	2	2	2	1	4

個性へ配慮して作業配置していたが、**多能工化を進めることで自己効力感・自己有用感の高まり**がみられ、仕事も人に対しても**受け入れの余裕**が出てくる

まとめ

- ・作業アセスメントを**全員**で話し合うことで**支援ポイント**が明確になる
- ・各種検査で「できる」「できない」が明確になり**伸びしろ**が分かる
- ・**多能工化**はご本人のスキルアップや自信にもつながるが、特定の作業しか入れない**重度者**の受け入れが出来るようになる
- ・重度者でも個性に適した作業を探すと、徐々に**環境適応**していく
- ・利用者リーダーを担うことで**主体的な言動**の育ちがある
- ・**自動化**や**省力化**は積極的に投資するほうが良い
- ・管理者、作業支援者で**役割分担**を行うほうが効率的
- ・企業の皆様にアドバイスいただき**生産工程**の認識が深まった
- ・**作業アセスメント**の知識を身に付けると新規作業が組み立てやすい
- ・福祉へのご理解と協力的（**単価と量**）な企業を探す大切さ
- ・良質な作業受託のカギは企業の要望にどれだけ対応できるか
- ・作業時間の延長や効率化は施設の**努力と工夫**で必ず出来る